

新たな多数派の思想の形成をめざす 100 人委員会

「これまでの延長線上に未来はない」。いま私たちはこんな時代を迎えているような気がします。

現代世界は自然と人間の等身大の世界にこそ大事なものがあるのだということをおぼえてきました。すべてが商品化され、ついには貨幣が駆けめぐりながら貨幣を増殖していくなかに経済が展開する時代が生まれました。私たちはその破綻から何を導き出したらよいのでしょうか。

等身大の世界に戻る。等身大の世界をつなぐ。そのことによって生命の活動が感じられる世界をつくりなおす。私たちはこのことから出発し直さなければならぬような気がします。自然の力、人々の労働の力、地域の力、そしてそれらが結びあうとき生まれる力。ここにこそ私たちの社会がつくられていると実感できる等身大の世界を創ることが、私たちの課題になっているのです。

とすると、どうすればよいのか。「新たな多数派の思想の形成をめざす 100 人委員会」はこの課題に向かって歩む人々の場でありたいと思っています。活動の場は、参加された人々のそれぞれの時空です。「100 人委員会」はいわゆる組織をめざしてはいません。それぞれの時空で活動し、その成果を持ち合い、学び合い、再びそれぞれの時空で活動する。そんな結びあう場でありたいと思っています。

100 人を超えたら「200 人委員会」に。200 人を超えたら「300 人委員会」へ。そうやってシステムに振り回されない世界を広げていくことが、私たちの目標です。誰でも参加でき、「組織」に対する義務も権利も発生しない。もしも義務や権利が生まれるとするなら、それはそれぞれの人々が活動する時空においてだけ。私たちはそんな「委員会」を創りたいと思います。